

感染症科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	各種病原体に対する免疫細胞のプレセプシン産生性についての解析
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	感染症科
研究責任者	(職名) 准教授 (氏名) 小泉祐介
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	プレセプシンは、細菌感染の時に免疫を担当する細胞から放出されるタンパク質の一種です。通常感染症を発症した時に検出され、炎症の強さを示す他のマーカーと比べて非常に速く反応するため、細菌感染症の早期診断に応用されつつあります。今回私たちは、上記の免疫担当細胞（白血球）を各種病原体（病気を起こす微生物）と反応させることにより、このプレセプシン産生量が病原体によってどのように異なるかを検討します。
対象となる患者さん	2017年9月から2022年3月までに当科を受診された患者さん
研究の方法	皆さんが外来で、通常診療の一環として成された採血の検体残余分を頂き、白血球を分離します。この白血球を各種病原体と反応させてプレセプシンを測定します。研究計画書、及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ます。希望される場合には当科（下記）に御連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ～2022年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：血液検体 情報：プレセプシンの測定結果
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学病院感染症科 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 小泉祐介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 78484)